

チェコで人材不足が最も深刻な職種は？

組立作業員・機械操縦者

チェコの企業で主に必要とされているのが、製造ラインの作業員である。シュコダの工場があるムラダー・ボレスラフでは、組立作業員1624人が不足している。また、シュコダのクヴァシニ工場があるリヒノフ・ナド・クニェジュノウにおいては142人、人材が不足している。



建築作業員

国内で2万3000人以上不足しているのに対し、人材はおよそ1600人ほど。求人数と求職者数で一番差があるのはプラハで、これは建設会社の大手が密集しているためといわれている。



飲食業従事者



飲食業における人材不足は、プラハやカルロヴィ・ヴァリ、チェスキー・クルムロフといった人気の観光都市で深刻化している。プラハでは、2000人以上の料理人が、チェスキー・クルムロフではバーマン47人が不足している。これに反し、ブルノでは、バーマンの求人3件に対し、51人の求職者となっている。

高等学校教員

主に中央・北ボヘミアで、高等学校教員が不足しているが、プラハも同じである。反対に、モラビアでは逆の問題を抱えており、オロモウツでは、1つの求人に対し22人の求職者がいる。

